

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-75)、廃棄物管理施設(50)、MOX燃料加工施設(2-38))」
2. 日時：令和5年7月19日(水) 13時30分～15時20分
3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)
4. 出席者  
原子力規制庁  
原子力規制部  
核燃料施設審査部門  
(原子力規制部新基準適合性審査チーム)  
古作企画調査官、大岡主任安全審査官、岸野主任安全審査官、田尻主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、小野安全審査官、上出安全審査官、山口係員、横山原子力規制専門員  
日本原燃株式会社 再処理事業部 新基準設計部長 他5名
5. 要旨
  - (1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和5年7月13日の提出資料に基づき、竜巻防護対策設備の設計に係る考え方の整理について確認を行った。
  - (2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。
    - ・基本設計方針(耐震設計等の関係する他条文を含む。)と各竜巻防護対策設備の構造設計との関係を整理する。
    - ・竜巻防護対策設備の設計思想、それぞれの設備における設計変更の概略についても整理して説明する。
6. 自動文字起こし結果  
別紙のとおり  
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
7. その他  
提出資料  
なし

## 参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000120.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000121.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000122.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000123.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html)
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000124.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html)
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000242.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html)
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000243.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html)

- ・ 令和5年7月13日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
00:00:00	はい。そこを返しました。規制庁山口です。それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始しますと本日のヒアリングは令和4年12月26日に申請があった再処理施設廃棄物管理施設と、
00:00:14	令和5年2月28日に申請があったMOX燃料加工施設の設工認申請について資料をもとにヒアリングにて事実確認を行うものになります。
00:00:24	まず規制庁側の出席者を紹介いたしますと本庁会議室から古作紙で、
00:00:31	田尻桜花、濱崎。
00:00:35	尾野。
00:00:36	山口。
00:00:38	このファイルから藤原、岸野、横山。以上になります。それでは日本原燃の方から出席者の紹介とそれぞれの役割について説明また議題の構成を説明し、
00:00:51	当資料の説明返してください。
00:00:57	はい、日本原燃事務局。
00:01:00	日本店みたいな出席者紹介たちも、
00:01:05	Steering チームより、
00:01:08	石黒、野元、高谷、
00:01:11	石原、
00:01:13	あと再処理及びMOXの事務局へ参加させていただいてございます。
00:01:17	本日ご確認いただきます資料でございますけれども、F、先週7月13日にですね工程差し上げました。
00:01:25	酒巻防護対策設備の設計を出発させてもらって、次の設計の保守等についてという資料のご確認となって、をしていただきたいと思います。
00:01:35	それではこちらから説明の開始をさせていただきます。
00:01:39	と規制庁古作です。すいません。
00:01:43	今、Steering チームだけのヒアリングっていう感じで紹介ありましたけど、
00:01:50	サポーターなり、
00:01:53	エンジンチームは何て言うのかよくわかんないですけどわあ、
00:01:57	いらっしゃらないっていうことでもいいのでしょうか。
00:02:02	日本原燃の石黒です。償還 Steering チーム、させていただいてますけれども、それ以外ですね竜巻関係者の

00:02:13	数年、出席して、ここに同席していただいているということでございます。
00:02:22	有限の石原でございますが
00:02:26	おっしゃっていただいたように特に石黒さんとか野本さん時も下線をサポーターでつけてますけど、
00:02:36	あと高谷さんも含めて当社の設計の詳細までは十分ご理解いただいている状況というよりは、全体の枠組みの整理をしていただくということだと思っておりますので、
00:02:50	個別のヒアリングで Steering チームのメンバーがしゃべるときにそのサポーターとしてつける人間も、名前を述べた上で、発言権を持たせようとは思っています。ちょっとその辺の整理を別途、
00:03:04	させていただきたいと思えます。ただしその発言は、等でペアリングチームのメンバーが、その発言内容を理解した上で、その発言が方向性額、間違っていないということを事前に確認して発言をさせると。
00:03:17	ということで、檀段取りをさせていただきたいと思っております。はい。
00:03:22	はい。補足です。
00:03:25	よろしく申し上げます。ていうのも、事実関係をわざわざそちらで通訳するかのよう、時間かけて話されても意味がなくて、
00:03:35	そういったところは、
00:03:37	やってる人が言えばよくて、判断が必要なところとか、考え方というところを、
00:03:45	Steering チームがちゃんと整理をして対応するということですので、
00:03:50	発言は、
00:03:52	全然していただいているものだ。
00:03:55	です。その上で、そのためには、最初にちゃんと出席者登録をします。
00:04:00	ということが必要なんだと思うので後からしゃべっちゃったんで、すいません登録してくださいと。
00:04:06	いう方があまり運用としてはよくないかなと思うので、
00:04:10	事前に対応よろしくお願ひし、
00:04:15	はい、日本例年事務局中浜です。はい、承知いたしました。
00:04:23	はい。弓削西原でございますそういうことですねすいません

00:04:27	バタバタけど、年年側の出席者として石黒サポートするメンバーとして、蝦名藤太田中尾エントリーを入れにさせていただきます。はい。
00:04:48	規制庁小阪ですわかりました。
00:04:51	では説明をよろしくお願ひ。掻い摘んで結構、
00:04:58	はい。日本原燃から資料ですけれども、本件、今回の資料ですけれども、
00:05:04	位置付けとしましては共通 12 の構造設計の説明を行う前に、相対変位の話とか、開口部の話ということを整理するということにしていたというものです。
00:05:15	今日の資料ですけれども、7月7日の進め方ヒアリングで、事業許可の申請書とか、業績方針等の上流の方針との整合性の確認と、
00:05:26	いうことを再確認するというにしておりますので、現時点での竜巻防護対策の設計の考え方というのを整理して、それとですねその時にいただいたヒアリングのコメントに対しても、
00:05:38	回答していくような形にしていきたいと思っております。
00:05:42	またですね先週金曜日の進め方ヒアリングにおいて、本ヒアリングの後、説明としては共通 12 の方を用いて説明していくと。
00:05:52	というような方向性で合意していたかと思しますので、本説明終わった後にですねその辺の予定についても、口頭ですけれどもちょっとお話しさせていただきたいなど。
00:06:02	いうふうに思っております。
00:06:04	まずこの資料ですけれども、大きく、当社から説明したいことは、3点ございましてそれぞれ添付資料 1 と 2 と 3 になるんですけれども、一つにはですね、
00:06:15	開校に関わる考え方とか、
00:06:18	二つ目はですね 5 店舗にですけれども、地震時の相対変位を考慮した竜巻防護柵の設計の考え方というもので三つ目はですね、これ、設計に関する補足説明事項というふうにかかしていただいたんですけども、
00:06:33	これは室なんかのセクターヒアリングにおいて、いただいたコメントに対してちょっと補足させていただくという形になります。
00:06:41	それではちょっと資料の方ですけれども、まず一つ目の
00:06:46	横評価方針に関することですけれども、
00:06:49	こちら

00:06:51	衛藤先生中のヒアリングにおいて、具体例で言いますと、
00:06:55	を用いてですね、ちょっと説明型ヒアリングにて示させていただいたんですけども、ちょっと前提としまして、やはり竜巻防護対策設備を通過してくる飛来物、
00:07:06	の位置とか、角度とかによってですね、防護対象設備に当たらないという説明を根拠を持って説明するのはちょっと難しいかなというふうに、
00:07:18	その時のヒアリングを受けて、ちょっとそういった考えに至りましてですね、定性的に問題ないというふうに我々考えていた箇所についても、隙間を塞ぐとか、
00:07:29	また必要に応じてラビリンス構造をするように、検討をちょっと進めているといったような状況でございます。
00:07:37	その考えをベースに、改めて上流文書から整合性について確認したというものが、添付の1になります。
00:07:47	こちらこの説明はちょっと省略させていただこうと思うんですけども、
00:07:53	この資料 T2 杯 2 枚目からですね整合性整理表というのを配っていただいてますが、どちらにはですね、
00:08:03	改めて上流文書からの施工成立性確認したということで、よく見るとですね黄色くハッチングして①とか②とか、というような数字をさせていただいております。
00:08:15	こちらについては、
00:08:18	開講とかですね、あとその他ちょっとそれがもう少し充実が必要かなといったようなところには、風船をさせていただいて、一番右側のところに、
00:08:28	設計整合性に対する事業者認識という欄を設けさせていただいてますけれども、そこに各数字ごとに対して我々どのような認識を持ってるかと。
00:08:38	いったような説明をさせていただい
00:08:41	一つはちょっと申し上げませんが、最初の 2 ページの①の箇所については、こちらは自然現象等というふうに記載させていただいてるんですけどもこれは、地震時の相対変位を考慮した設計では、

00:08:54	条文、耐震側の方、地震側の方の要望から出てくるものになりますので、こっから読むということで、そういったたてつけになっていることを示しているというこの青字で、右側で書かせていただいと。
00:09:07	いうところになります。
00:09:09	で、確認した結果につきましてはですね、ちょっと一つだと思う下げないんですけども、1枚目の方に戻っていただきまして、確認した結果につきましてはですね、
00:09:20	現状の事業許可とか、基本設計方針と整合というのは、整合的であるというふうに考えておりまして、それはですね
00:09:31	先ほどお話ししていただいたようにですね、対策を順次実施していく、検討していくといったことを前提にしておりまして、そういった意味ではですね、
00:09:43	整合とれてるといふふうにすいません。規制庁、加来です。書いてある内容を一生懸命言われても、
00:09:52	あまりしょうがないので、
00:09:55	ちょっと止めさせていただきましたけど、
00:09:57	整合してることを説明しせよという宿題ではなくて、
00:10:02	基本設計方針なりそれを踏まえた、
00:10:05	設計の体系を整理すべしと。
00:10:09	ということがタスクであって、
00:10:12	整合性を確認しました。
00:10:15	整合してますっていうことを今言うことじゃないと思うんですけど、なんのか作業間違ってます。
00:10:26	日本原燃の石黒です。
00:10:30	ちょっとすみません私の認識をちょっとお伝えさせていただきますと、
00:10:36	7日、1人7日のヒアリングの際に、幾つか例をもって、
00:10:43	この開口部に対する考え方の例をちょっとお示しさせていただいたときにですね。
00:10:48	そもそもその開口部の
00:10:51	を開けて、その中に入ってくるといったようなところが、その考え方に対して、これまでのその上流文書も含めて、考え方に成功しているのかといったような、



00:11:03	ちょっとご指摘をいただいたというのが経緯とし、というふうに認識しております。
00:11:09	その後ですね、確かに7日の時点ではですね、ラビリンスを設けないまでもですね、位置とか開口部の位置とかですね、安全上重要な設備の位置とよっては、
00:11:21	問題ないんじゃないかなろうかといったような話をさせていただいたんですけども、その後、やはりそこもちょっと埋めていきましょうというふうに方針を変えたといったふうに思っております、
00:11:33	それを踏まえればですね、この通りに対する答えは、整合的であるというふうになったというふうにちょっと考えております。田尻市長の田尻です。伴そもそも整合性棒の関係がいつ時点の話してるのかも何かもはよくわからない話になってきていて、
00:11:50	以前とか、今買い換えたんですよとかって言って、どこが話してるかわかんないですけど、今回多分原燃として説明しなきゃいけないのは、竜巻としての共通の設計方針があって、それを踏まえた竜巻防護対策設備としての方針があって、
00:12:06	それを踏まえてちゃんと個別設備の設計方針具体の構造設計について整理しました上流からちゃんと整理しましたっていう説明をするだけだと思っていて、
00:12:14	過去のどの時点があって間違えたなんて、どうせ変えたんだと思うので、あまり意味がない気がするけどそのあたりは大丈夫ですかね。
00:12:26	はい。日本原燃の石黒です。はい
00:12:31	おっしゃった大体には理解しました。なので
00:12:36	上流からやるということで、おそらく共通12、資料の123そのものをちょっと指しておっしゃっていただいているのかなというふうに理解をしまして、今回はちょっとそこまでの資料は用意するという認識でなかったというところで、
00:12:51	申し訳ありませんがそこはちょっとずれがあったというふうに思っております。規制庁の谷です。共通中には次のタイミングで示すと思っておりますのでその資料は別に積まれてないこと自体はいいんですけど、
00:13:03	要は共通12をいざ蓋開けてみると、またちぐはぐなものでできてもよくないからと言って、前段部分で、現在で結局どう今設計しようとしてるっていうのを考えよう、確認しようとしている話で、

00:13:15	別にこの資料を使っても別に何してもいいんですけどどうしようとするかちょっと確認だけさせてください。
00:13:23	何か特出して説明したいところがあれば先に聞いておきますけど使っても資料を読み上げる必要はないので、何か面としてここだけはその資料からだと読み取りづらいんで補口頭で補足させてくださいとかがあれば、さっき聞きます。
00:13:37	はい。日本原燃の石黒です。そうしましたらここで一つだけちょっとお伝えしといたほうがいいかなと思ったのは大きく二つですかね、資料1ページ、2ページのところの、
00:13:50	右下の方に四角で囲っているのが立って、右から2列目のところですね、そこのところにですね一応ですねこれまでは進入してもいいというふうな、
00:14:04	論調で話をさせていただいたんですけども、その一番、青字で書いてある三つ目のパラグラフのところで、
00:14:11	設計飛来物が侵入しないような構造にしますよということをここでちょっと宣言していると言ったところが一つかなと思っております。もう一つはですね、資料には記載してなくてですね。
00:14:24	羽根さんの方から、イレギュラーな設備があるのかなのかといった話をいただいております、これに関しては、ちょっと今日は何もお示しできてないんですけども、
00:14:37	足元の開口塞ぐといったようなことで、開口塞ぐ言葉、結構、これも仕事の最高負託によって、人の出入りがですね、非常にしづらくなってしまふということが後からわかっておりましたですね。
00:14:51	そこに対して扉を取って設けるといったようなことで、これまでとで多分設けたということで、ことにならざるをえないかなというのがありまして、これについてちょっと今日は議論はできないんですけど、というのがありまして、
00:15:04	これでちょっと共通中の説明の中で、ご説明差し上げることになるというちょっと予告だけ、話をちょっとさせていただきたいと。
00:15:12	町田井手。
00:15:13	以上です。規制庁の渡です。二つ言われて、一つ目に関しては入らないようにしますよって設計方針ですってというだけの宣言だと思うんでそこ

	はそうですかという形で二つ目に関してちょっと音声聞き取りづらかったこともあって、確認なんですけど。
00:15:27	今言われたのは、ベール構造っていうのを基本にしてるけど、メール構造じゃなくて、扉にしようと思ってるところもありますよというのを、を言われただけですだからそれであれば別に議論も何もないような気もするんですけど。
00:15:41	はい。日本原燃の石黒ですその通りです扉構造のものがありますというお話だけです。
00:15:48	以上です。
00:15:50	規制庁田尻です。なんでそれが防護板という分類に入るのかどうかとかの議論はあり得るけれど、うちの扉という意味でいうと、ちょっと原燃って意味であんまないのかもしれないですけど先行の実用炉とかで言うんだったら
00:16:02	建物の基本床で別に水密扉が何扉だろうかいろいろあると思うんでそういったものも踏まえながら設計説明しますよとかそういう説明ですか。
00:16:14	日本原燃の石黒です。はい。そこで認識間違いございません。
00:16:18	はい規制庁たりするその点わかりましたって。
00:16:22	その上でちょっとすいません最初のページの方から、少し認識が本当にあつたら確認という意味合いも少しあるんですが、
00:16:28	まず1ページのところなんですけど、整合してた成功だったっていうのはまあ置いて、今現時点でどうしようとしてるかというところで確認していきたいんですけど。
00:16:37	まず1ポツのところ、二つ目のパラの3行目のところとかからなピリンス構造とする等というのがあったり、
00:16:45	2ページ目のところで先ほど四角囲いのっていった中でただし書きが書いてあって、建物を期待するっぽい雰囲気のことを書かれてはいるんですけど、
00:16:53	まず今原燃が宣言されたのは、扉っていうのはいるかもしれないんだけど、基本的に、設計飛来物飛来物で考慮するものが入ってくるような、
00:17:03	開口部に関しては、迷路構造、また扉にすることによってすべてふさがりますよっていうのが方針でいいですかね。
00:17:15	日本原燃の石黒です。はいおっしゃる通りです。
00:17:19	規制庁の田尻です。

00:17:21	若干そこと絡んでなんですけど、1ページの1ポツのところのまた書きのところ新設の竜巻防護対策設備はというような書きぶりにもなってるんですけど、これは要は、
00:17:33	今回の設工認における新設なので、一式とちょっといいんですよね。
00:17:41	日本原燃の石黒です。はい。その通りです。節、今回の竜巻防護対策は新設という扱いで説明してますので、これとこれに該当するという認識でいただいて、問題ございません。
00:17:53	以上です。
00:17:54	はい。規制庁田井です。なので、原燃として設計方針として、先ほど設計方針との整合の話をされたんですけど、この共通12を説明される際に、資料1にサーンと踏まえて説明されるんで、
00:18:10	示されるとは思うんですけど、本来的には、共通的な設計方針竜巻に対する共通的な設計方針があって、必要な強度を確保すること等によって竜巻防護対象施設の安全機能を損なわないという上段のやつがあって、
00:18:25	第2章の基本設計方針があって、竜巻防護対策設備は設計しますよってというような形で繋がって、設計方針添付とかそういう形で繋がって思ってると思うんで、その関係を多分しっかり示していたことが必要かなと思ってます。
00:18:38	で、
00:18:40	一応、元年度認識合わせしておきたいんですけど、設定方針という意味でいうと、先ほど少し話した第2章のところでは、ネットのところとか貫通及び通過を防止するというふうな話をしてきたので、
00:18:53	設計飛来物が通過するっていう説明をしている時点で設計方針と整合しなくなるのでそうならないように、ネットに限らず、貫通及び通過、要は防護対象施設にぶつからないように貫通及び通過を防止していくようにしますよってというのが今回の方針ですかね。
00:19:15	はい、日本原燃に就労です。その通りです通過させないというのは、隙間を塞ぐということと理解しております。
00:19:25	以上です。
00:19:26	はい、清町谷井です。その時に今操船にはされたんですけど、もともと第1回の際はネットがメインでやってきたところもあって、今回のよう

	に加工くんでそこに防護板つけてみたいな形で今隙間があるような防護板ってのがあんまりイメージしてなかったこともあって、
00:19:42	通過の話書いてるの多分ネットの方に特殊で書いていたような気がする ので、そういった点も踏まえてどこにそういった文言を入れ込まなければ いけないのかで、かつちょっと今現在どこまで検討されてるかわかん ないんですけど、次回ですかね共通 12 が示されたタイミングで、
00:19:58	その上流の設計方針がやはり強度を確保する等だけになっていることも あってぶれてるところもあると思うので、上流の設計方針としてどこま で書くかっていうところも含めて検討していけばいいかなというふうに 思ってるのでその点も認識いただければと思うんですがよろしいです か。
00:20:17	日本原燃の石黒です。はい問題意識は思っておりました。ちょっと説明 の順番として、今、
00:20:28	そこを最初にやるべきっていうふうにおっしゃったのかなっていうふう にもとらえたんですけども。
00:20:34	ちょっとまず、用意説明できるところかなと思ってたところもありまし てですね、資料 3 のですね、構造関係で
00:20:46	ある単位でもって説明をしようというふうには実は考えておましてね、 上流からの整理が必要というのは、重々承知はしてるんですけども、 説明の順番としてそこを入口にっていうと少しちょっと、
00:20:59	こちらの段取りもありましてですね、ちょっと順番はお任せいただきた い。
00:21:03	清町の田尻です。すいません共通 12 っていうのは、資料 3 が急にポツ と出てくるわけではなくて、資料 12 があって 3 人いくもんだと思っ てるんですけど、まずそこからにしてやっていますかね。
00:21:20	はい。日本原燃の石黒です。その認識ははい同じなんです。
00:21:25	あそこははい理解している、しております。
00:21:31	等、そうすると、はい。
00:21:33	綾規制庁滝です。
00:21:36	僕が思ってること言いますね。共通中にやるんだったらそれは資料 1 に から 3 の流れが当然あった方がいいと思いますし、今、何期にされてる かわかんないんですけど、その

00:21:46	資料3っていうと多分構造部分の話だと思うので、それをどう考えてるかだったら別に、今日例示後に二つぐらいしかつけてないけど他のとかこうしようと思ってますっていうふうに言って行きゃいいかなような気もするんですけど。
00:21:59	現在の考えてるのって、今日これをやって、
00:22:02	資料3戻りなのかちょっとわかんないですけどやって共通12とか何だっけ、次回の共通12っていうのは何をイメージしてたんでしたっけ。
00:22:14	日本原燃、就労でございます。
00:22:16	1回ですべてちょっと説明するのは、ちょっと時間を
00:22:23	いただかないといけないというふうにも思ってたので、3回ぐらいに分けて、規制庁古作です。
00:22:30	説明要りません。資料さっさと出してください。
00:22:34	見ますので、
00:22:35	十分、
00:22:36	我々読み込みますと、
00:22:38	いうことなんですけど、何に時間がかかると思ってるんですか。
00:22:52	ちょっと田仲に話しさせていただきます。
00:22:57	日本原燃田岡でございます。今の先ほどどこが一番時間がかかるかというところなんですけども、我々今回の資料でこういうところに観点に対して、設計方針を従来からちょっと直さなきゃいけないというふうに、
00:23:10	認識をしていますここんところが問題だっという問題意識がすでにもう持って今、整理を始めているんですけどそれを具体的にどのように記載の方法に変えるとか、ちょっとこの具体化をするところでちょっと今時間がかかりそうだなというふうに今考えているところでございます。以上です。
00:23:28	規制庁の2人です。多分ですね
00:23:31	これ、多分一番最初表失敗したのが、設計どうしようっていう、上流からの設計方針に従いながら各個別の設計しなくて、各個別の設計と上流が合わないじゃないかとか統一的に書けないじゃないかよっていう話になって揉めている気がするので、
00:23:46	また後の方作ってくれないと前つくれませんっていうと、
00:23:50	仲間田尾、いや、今回今年は後しっかり。
00:23:52	いると思われる可能性はあるんですけど、

00:23:55	どういう統一的な設計方針です。
00:23:58	見てもらわないと説明できないような気がするんですけどそのあたりはどのように考えてますか。
00:24:11	規制庁館ですこれをどっちかという田仲さんってより石黒さんの方がよ うな気がするんですけどや、はいすいません、古作です。私も石黒さん に対してですけど、今、時間がかかると言われたのは、原燃では無理な んですよ。
00:24:26	第1章第2章、さらに第2章の中の個別機器と、
00:24:31	いうところで段階を追って分解して整理していかなきゃいけないとい うときに、どこまでを上流で共通形で表現できるのか、その表現を、
00:24:41	後段と同じ表現でいいのか丸めて全体を包含できる表現にした方がいい のかと。
00:24:47	いうことをよくよく考えないといけなくてですね、その考える能力がで きてたらこんなもめてないので、
00:24:54	率直にこういう状況ですということを整理をして、ヒアリングにさっさ と臨んでいただくと、こちらとしてはこう考えるというようなことを、
00:25:04	お話をしながら、どの段階でどこまで明確にすべきかと。
00:25:08	それによって類型としてこういうふうに整理できるねということを話を しなきゃいけないですね。
00:25:14	で、前回、共通費用の時かもしれませんが、
00:25:19	メール構造の話については、モック数外気取り入れのところ迷路構造 になっていると、というようなことが再処理の
00:25:32	吸気の部分ガラリーのところ認識がずれてたようなところがあって、それ もう、
00:25:40	共通の設計方針なりでどう読めていて、それが白井。
00:25:45	物防護ネットなり防護盤等、どういう関係にあるのかということに分 析、評価しなきゃいけないと思っています。
00:25:53	そういったタスクイメージを持ってない人が悶々と考えても意味がなく てですね。
00:25:58	登場人物全部並べてだからマトリックスにした方がいいんですかね横軸 す、いろんな、
00:26:04	設備が並んでいて、縦軸に今の開口が云々だったり、貫通なのか、通過 しないなのかというような項目が縦に並んでいて、

00:26:17	類、同じであれば、これでまとめますだし、類似だけちょっと違うんですだったら、どこでどう分岐しましょうかだったりと、
00:26:26	いうことを話をすればいいと思うんですけど、そういった子、
00:26:30	概念が整理できる完了。
00:26:33	簡略なというか、一旦まとめたものを作り議論すると。
00:26:38	いう場を設定するつもりは今原燃にはありました。
00:26:52	日本原燃石黒です。
00:26:54	衛藤。
00:26:56	今、滝さんがおっしゃっていただいた後に手術、
00:27:00	間を設定する場というのは、今お聞きするまでは、考えていなかったんですけども、その必要性については認識したつもりですので、
00:27:11	そこはちょっと、
00:27:13	準備して出しできるような、そこはちょっと準備しておかしいと思います。ちょっと中でまた議論をさしてしたいと思うんですけども、趣旨を理解いたしました。
00:27:25	はい。補足です。おそらくそのマトリクス画だけだったら、少なくとも第1回飛来物防護ネットの認可を受けていて縦軸は基本整理されているはずと。
00:27:37	建物関係も MOX で整理をされていると。
00:27:41	ということなので大枠は並べられるわけですよ。
00:27:45	その中で横軸、各機器並べると、
00:27:51	飛来物防護ネットと建屋というサンプルがある中、それに包含されるのか、枝葉のバ別途追加なのかと。
00:28:00	いうことは、並べればすぐ話ができる。
00:28:04	結論は出せないかもしれないですけど、議論ができるたたき台の資料はすぐにつくれると思うんですけどいかがですかね。
00:28:32	規制庁の館ですけど、原燃聞こえますか。はい。
00:28:38	はい日本原燃石黒です。ちょっと音が少し飛んでたのは飛んでたんですけどはい。
00:28:46	ネットなり、建物なり、内包するものがどんなにあってと、こういったものが類型化されてっていったのはマトリクスを
00:28:56	そういったことが類型化されていたような、過去のすでにやったところから展開することでやれる作業というのはそんなに大きなボリュームな



	いんじゃないかなといったような趣旨のコメントだったというふうに理解しております。
00:29:11	ちょっと
00:29:13	うまく、
00:29:34	はい、規制庁の田尻柘植今中発案してますか。
00:29:40	日本原燃石黒です。すみませんちょっと内部で話をしておりました。
00:29:45	衛藤。
00:29:47	資料につきましては、極力早期にお出しできるようにはしたいと思っております。いずれにしても、その辺の整理ができないと、多分、
00:29:59	時計トラクターの説明ができないってことなんじゃないかなというふうに理解しましたので、
00:30:07	そこは理解です。以上です。
00:30:10	はい、古作です。そこで、
00:30:12	現状の整理はそれできているのでそれ出していただいた上で、
00:30:19	原燃がこれからこうしたいと思っているやつがそれで読み読めるのかどうかと。
00:30:25	いった話をしていくんだと思うんですね。その時に原燃はこうしたいっていうビジョンを、
00:30:32	ちゃんとこれまで提示いただいているかという、先ほど田尻が言ったように今回サンプルでしかない。
00:30:38	ということなので、
00:30:42	一旦並べておいてもらわないとそれが読めるのかどうかという話ができないってことかなと思うと、最初に石黒さんが言われた資料3からっていう表現ではなくて、
00:30:54	こういう構造にしようと思ってますっていう、事実関係の提示と。
00:31:00	いうことはあっていいんじゃないかなと思いますけど。
00:31:03	それによって石黒さんのやろうと思ったことは達成できるんですかね。
00:31:13	はい。日本原燃石黒です。
00:31:15	はい。はい。それはできると思います。でも最終形は同じだったんですがちょっとアプローチがはい。こちらがどんどん逆に言っていたというのが多分実態だと思いますので、

00:31:27	はい。おっしゃっていただいたようにですね、事実関係を整理した上でですね、我々が意図しているところと、それ、それがちゃんと合ってるかどうかというのも含めてですね、
00:31:39	説明できるようになるんじゃないかなというふうに思います。以上です。
00:31:46	はい、古作です。アプローチが違ったっていうのはまさにその通りなんですけど、我々が常に求めているのは、断片断片を説明されても困ると。
00:31:57	ということで、まずは原燃で一式考えていて、その考えている状況で説明してくださいということなんですけど、いつもその断片の説明の部分だけで後は後でって言われちゃうから。
00:32:11	全体の確認が取れないということでこちらを待っていたと。
00:32:16	ということなので、資料提示は全体でもらいつつ、詳細化部分を手かもしれませんけど、やっていただくということでありで、
00:32:28	今回は、まずは
00:32:31	基本設計方針なりなんりのところは先ほどのマトリックスで大枠議論ができるようにしてもらおうと。
00:32:37	ということ。
00:32:41	構造の舞台についてはまずは事実関係として提示をいただいて、認識は、
00:32:49	持ちながら議論を進めていければと。
00:33:00	その上で方向性を認識をしたところで、共通 12 の資料 123 と、
00:33:09	いうことに落とし込んでブラッシュアップしていくと
00:33:12	いう作業の流れかなあと思いましたけどそういう認識でいいですか。
00:33:20	はい日本原電、石黒です。
00:33:23	はい灰色その認識で、問題ないと思います。共通牛乳を入れる前に、ちょっともう少し整理が要するという理解で、それで問題ありません。以上です。
00:33:33	はい規制庁館ですよろしくお願ひしますというところなんですけど、その際なんですけど意識図を閉めるっていうレベルにはならないのかもしれないんですけど、今回は迷路構造にしようとするときってきっと板ふやしたりすると思うんですね今回の資料でいうと 12 ページのところとかで 1 回ますよっていうところ令和元からあるやつを入れるタイプ

00:33:53	だと思っんですけど、逆に 13 ページとかのやつになると、
00:33:58	多分地面から新しく何か林たりとかっていうのがあり得るような気がするし、他のところにも多々開口は多分存在しているはずで、そこについて、どういったものを要はあの既存のものに板ふやすのかその部分を変更するのか、それとも別途建屋とか、地上面から何かを増やそうとしているのかとかっていう考え方
00:34:18	もある程度聞ければなと思ってるんですけど、その辺りってどれぐらい意識、
00:34:24	スタートの方向性決まりそうですか。
00:34:31	日本原燃の石黒です。
00:34:34	方向性という意味ではですね。
00:34:36	埋めるか、ラビリンスにするかを見るってのは隙間を埋めるから日に白杵にするかっていう意味では、決まっているんですけども、
00:34:46	ただですね、この分を、下から作るのか上からするのかっていったものは、どうしてもその地震とかですねいろんなその他の要因のことを考えないといけないので、
00:34:59	ちょっとそれは、統一的にすべてこうしますっていうような説明はある。
00:35:05	ちょっとできるかどうかってのはちょっと検討が要るかなというふうに思っているところです。すいません歯切れが悪くて申し訳なかったです。規制庁館です。別に統一的に言わなくても 1 個 1 個言ってもらってもいいんですけど。いや何を気にしてるかっていうと今言われた耐震の話だってありますし、
00:35:21	極端な話で言えば設備分類としては、元からあったものの一部とでとらえるのか新しい設備が増えるのかとかいろいろ話もあり得ると思ってるので、
00:35:32	先ほど共通 12 の資料 3 を示すような話をされていたので、どういったところにどう追記するのかのイメージがある程度あるのかなって思ったんですけどそこは、儘田っていう感じですかね。
00:35:48	日本原燃の石黒です。現状の記載に対して、担当者レベルでですねこういった記者がいるねといった議論はしてるんですけども、

00:35:57	それは必要性についての議論をしていて、十分性の議論というのはちょっとまだ十分できていないというところで、イメージができてるかと言われると、やはりその十分性の議論ができてないと。
00:36:10	イメージってなかなかいい嫌いではないなというふうに思っておりますので、その意味ではちょっとまだ、途上だというふうな認識であります。以上です。
00:36:19	はい。規制庁大谷です。その東條っていうのが変な設計持ってこられるというところがあるので、その東條っていうのが、いつごろめどなのかとかっていうスケジュール感も含めて多分今後話を聞かないと、
00:36:31	先ほど話があった共通中に、要は一部分が確定、要は後の図のところを確定するのに時間を要しようっていうのが今の説明ですかね。
00:36:44	規制庁決得です。
00:36:46	少し共通 12 の資料 3 の観点でいうと、
00:36:53	MOX 通のグローブボックスで、耐震と閉じ込め、
00:36:58	の関係性をうまく表せていなかったということで、その表記の仕方だったり、関連性の説明の仕方っていうのを、前回話をして、
00:37:09	イメージが合ってきたのではないかなあと考えていますけど、それのでき上がりがを見てみると、
00:37:19	関連性をこういうふうに認識をし、こういう説明が必要だよねと、或いはどっちでどの程度、
00:37:26	整理をすべきだよねということが共通認識とれないと。
00:37:30	いう状況なんだと思ってます。
00:37:33	その中で本件飛来物防護番
00:37:39	防護ネットについても同じで、耐震と外部所 1 と、
00:37:45	いう要求事項さらに、冷却できるじゃないか閉じ込めか。
00:37:51	冷却という意味での閉じ込めの機能ということだったり、こちらの方が余計関連条文が多いということもあって、その要求をどう表現できるのかというのはさらに難易度が高いというものだと思います。
00:38:05	てます。
00:38:06	そういう関係からすると、完成形のイメージが持ててるなんてとてもじゃないけど言えないっていうのはよくわかるん。
00:38:13	ですけど、

00:38:14	何らかの聞き取りをクリアにしていかなきゃいけないっていう認識を共有すると。
00:38:22	という意味であ、何らか、
00:38:24	暫定版でも提示があるっていうのは意味があるのかなあと。
00:38:28	思ってますけど、そういう関係からするとどういうふうに進めたいですかっていうのを説明、
00:38:36	感触を聞かせてもらっていいですか。
00:38:42	はい日本原燃の石黒です。
00:38:44	今はですね衛藤小竹さんおっしゃっていただいたみたいに、
00:38:49	最終ゴールというものは、多分
00:38:54	結構結構大変だになっていうのはお互いに認識しているところだと思うんですけども。
00:38:58	まず手始めどこに行くかっていう意味ではですね、
00:39:04	ちょっと具体的にこうというわけじゃないんですけども、
00:39:07	できれば全体を
00:39:11	常に把握し直しておかないと、
00:39:13	イレギュラーな、いつもイレギュラーという話が出てくると思うんですけども、
00:39:19	後からイレギュラーが出てくると全体の話が崩れてしまうということがありますので、関連条文にしても、市場分にしても、
00:39:31	どういうふうな見方をしたら、センターがとらえられた形で議論を進めるかといったところを少し考えないといけないかなというふうに思っております。ただちょっとすいません
00:39:41	まず手始めにこうしようって言ったこと、回答になってなくて申し訳ないんですけど今考えていただくところところは、以上になります。
00:39:50	規制庁古作ですけど、
00:39:57	何の話をしてるんだっけっていう感じになっちゃってるんですけど、網羅性的な話でいうとですね、二つあって、
00:40:07	類型化の関係から、
00:40:11	関連する機器全体が漏れなく説明できる状態になっているかという網羅性と、
00:40:18	そこ抽出した設備に対して対応すべき、条文要求事項が網羅的になっているのかということ。

00:40:27	の2点あると思います。
00:40:30	前者については、市共通12-1、資料12の方で、基本整理をし、
00:40:38	それがある程度認識共有できた中で資料3を見て入ってますよねっていう確認を最終的にとると。
00:40:45	いう流れなんだと思ってます。で、私が聞きたかったのはそっちではなくて、資料3の方の話だったと理解をしているので、
00:40:56	一つ代表なりサンプルとなる設備を設けたときに、
00:41:01	関連する条文要求事項が漏れなく記載できるのか、それが関連性表持っているものをどういうふうに表示していけるのかと。
00:41:13	ということだと思って話をしました。
00:41:18	話題認識は合ってますか。
00:41:27	はい日本原燃石黒です。失礼しました。資料3に対して、各設備がどのような条文、
00:41:35	網羅的に
00:41:38	要求事項を目指す必要があるかといった話をしているということ、すみません、私も混乱しながら話していたのでちょっととんちんかんなこと言いましたけど理解しました。
00:41:49	はい。補足です。その上で
00:41:53	最低限ですね資料12が整理しきれないと。
00:41:57	ちゃんと資料3で、
00:42:00	記載できないっていうのはその通りではあるものの、
00:42:03	大枠として大枠としてってか項目としてですね、こういう要求事項がありますよ。
00:42:09	或いは、要求事項をつくるつもりですと。
00:42:12	いう項目出しを強い関連性を示すというくらいであれば、現時点でもやれる範囲じゃないかなあと。
00:42:21	いうところだと思ったんですけど、その点は進んでいるものですかどうですか。先ほど、資料3からとかって言っていましたけどっていうのが、
00:42:33	そもそもの質問かなと思うんですけど。
00:42:42	日本原燃の石黒です。
00:42:47	資料3を先に説明させていただきたいっていう話を差し上げたのは、

00:42:54	これまでの作成した資料の延長線上でつくれるのではないかというふうな認識でいたのでちょっとそのような説明をさせていただいたというのが、実態です。
00:43:06	疋田充実させて必要な要求事項たというものも含めて、一旦書き出してみようということをしようとしていたという形になります。
00:43:17	なのでそれでは、今、
00:43:22	日下さんおっしゃっていただいたことと、
00:43:25	やろうとしてることにはそんなに違わないのかなというふうには思ったんですけど。
00:43:30	はい、古作です。失礼。そんなにを詰めてないんだろーとは思いますが、ただ、す。
00:43:39	途中石黒さん言われたように、必要性という観点から書いていて充分性というのは十分じゃないと。
00:43:48	いう古藤のようなので、充分性を確認してから出せとまでは言いませんけど、
00:43:55	MaaS 一旦ぐらいは見て、
00:43:58	こちらからこれが足んねえじゃねえかとは言われないうぐらいわあ、
00:44:04	入れた方が効率的に話が進むんじゃないかなあと思います。その際先ほども言いましたが、資料 12 の整理ができてないところでの資料なので、
00:44:17	あまりその記載の文言なり、程度感っていうのにはこだわりませんので、まずは項目ということで、お互いに意識を取って作業したらいいんじゃないかなと思
00:44:27	ます。
00:44:30	日本原燃の石黒です。すいません。まず差を先にちょっと申し上げたいなと思うのは、努力はするんですけども規制庁さんからコメントは出ないようなものを作るのは、相当となり高いかなというふうに思っていますので、
00:44:45	我々できる、再発しますけれども、そこでいただいたコメントを持ってですねブラッシュアップしていくという形をやはりとっていきたいと思いますので、そこは杯ぜひよろしく願いいたします。
00:44:58	規制庁小阪です。石黒さん申し訳ないんですけど、

00:45:02	実態問題でそうなるのは別に、
00:45:06	受容してますけど、最初からそう言われるのは Steering チームとして納得いかないですね。
00:45:14	日本原燃石堂です。あ、失礼しました。はい。
00:45:18	最善を尽くすという言い方がちょっと逆に良くなかったと思いますので、しっかりとどういう判断の基軸を持ちながら、お出しできるようにしたいなというふうに思います。
00:45:31	失礼しました。
00:45:34	規制庁古作です。
00:45:38	よろしく願いしますとしか言いようがないですけど、
00:45:44	やることわあ、そもそも許可なりなんなりで方針は整理できている。
00:45:50	設工認も第 1 回はあるし MOX もあるしということなので、
00:45:54	本来そんなに論点ないんですよ。
00:45:58	という中で何でこндаけできないんだっていうところなので、そこは Steering チームもしっかりとグリップを持てばですね。
00:46:06	ええ。
00:46:07	もう 10、
00:46:08	文言としての十分性はいい、しかも今私求めてないわけで、
00:46:13	であれば項目ぐらひは当然のことながら出せるということでお話をしますから、
00:46:20	こちらからのコメントを求むってというような姿勢ではなく、
00:46:24	やって説明を水で拡充をしなきゃいけないと思ってるところは、話をして拡充し、そうですね拡充してくださいねと。
00:46:34	ということで話を進めていくもんだと思って。
00:46:37	ます。よろしく願いします。
00:46:41	はい。日本原燃石黒です。はい。失礼。
00:46:48	規制庁の田尻です。
00:46:50	今日も時点では一応確認に近いと思うんですけど、先ほど田中さんの説明とかで構造を変えたときにどうなるかってのちゃんと見てるような雰囲気はあったので大丈夫だと思うんですけど。
00:47:00	今回は飛来物防護板耐震考慮して離隔距離取るとか迷路構造にするとかになるといたが結構増えるし、つけ方が多分これまで示したんと違うような形でも出てくると思ってるんですけど。



00:47:14	そういったものに関しても、今まで防護板の設計で示し、今まで第1回までで防護板の設計として示したように、貫通は必要な貫通厚さを維持するし、あと、
00:47:25	落下とかしないように改定しないようにという設計方針は変わらずに設計してこうと思っているのでまずいいですかね。
00:47:38	はい。日本原燃加賀でございます。戸谷さんの認識通り従前の設計の方針に則った形で今計画を進めて検討をしているところの、
00:47:49	状況でございます。以上です。
00:47:51	はい規制庁とじです。時間をかけてるってところから多分そういうところはやられてるとは思うんですけど最終的にはそういったところまで確認することになると思うのでよろしく願いいたします。
00:48:02	あと、ちょっと今耐震の話も少ししたのでついで2なんですけど、
00:48:06	今の離隔距離を確保しますよっていうふうに言われてるんですけど、これはどれぐらいの間にするかしないかとかって話は検討中それとも大体もうめどが立ってるんで設計、
00:48:25	日本原燃江藤石黒ですけども、
00:48:29	離隔距離を覚悟しないといけない必要な距離っていうのは、一応現時点ではわかっているという認識でおります。
00:48:40	北井と規制庁古作です。
00:48:44	わかっているのは何でなんだっていうところあるんですけど、今地盤モデルの議論をされていてですね。
00:48:51	評価を見直さなきゃいけない場所があり得るという状況のなかー。
00:48:56	なんで、
00:48:58	わかっているかっていうと、
00:49:00	論点のあるところは地盤モデル見直さなくていいという、
00:49:06	ところローンあたりを、が取れてるからなのか。
00:49:10	或いは見直す時の影響程度この程度というふうな解析までしてあるからなのかどっちですか。
00:49:18	日本原電の石黒です。
00:49:21	最終的にはおっしゃるようにですね地盤モデルの影響を市から把握した把握というかですねそれを定量的に確認することが必要であるというふうには認識しております。

00:49:34	ただ設備対策をする上では、ある程度マージンを持って設計することで、
00:49:42	やり直しはないようには意識しているつもりでございますので、その意味で、一定の裕度を足した設計をしているという、そういう意味で耐えていただいたらいいかなというふうに思いました。以上です。
00:49:56	古作ですその一定のマージンってどういう取り方してんの。
00:50:00	ということで、それがぎりぎりだとすると危なくなってきたり将来的に大丈夫になったりということがあるんですけどどう考えてます。
00:50:13	そこはですね日本原電の石黒ですけれども、そこはですねそういう意味では、確定したものではないので、
00:50:22	どこまでの程度感という可能性がどうしてもあるので、そういう意味ではすいません
00:50:27	私は一定程度っていったところがですねまだ次、十分角度のあるものではない。
00:50:33	という認識の方が正しいと思いますので、途上であるというふうなふうにならうとちょっと修正させていただきます。失礼いたしました。
00:50:42	規制庁、
00:50:44	宇井を持たせて、
00:50:46	持たせて、
00:50:55	防護ネットだと、単純に C クラスで C クラスの地震。
00:51:00	何に対して、
00:51:02	何を目掛けて、
00:51:17	少々お待ちください。
00:51:37	日本原燃の石黒ですけれども、
00:51:40	見て新野 SS 要求がある、主排気塔の場合の竜巻も
00:51:47	解釈設備、
00:51:48	等について、1.2Ss で見ているという認識でございます。
00:51:57	波及影響という意味だと、
00:51:59	要は守らなきゃいけないのが、主排気塔な。
00:52:03	だから主排気塔と、その周りの板っていうのは 1.2Ss で見るんだ。
00:52:08	工藤。
00:52:09	その時に、
00:52:12	板同士、

00:52:13	排気塔とはちょっと離れたところの板同士でどういうふう
00:52:18	それも 1.2 です。
00:52:26	はい日本原燃石黒でございます。そこも 1.2Ss で見ている、見ております。
00:52:32	はい、規制庁。
00:52:34	それは、耐震の、
00:52:36	基本方針から展開されてそうになっている、どういう方針に基づき、そういう構造
00:52:52	少々お待ちください。
00:54:03	規制庁上手ですけど、すいません。
00:54:08	どうぞ。
00:54:09	ごめんなさい。日本原燃の石黒ですけども今ちょっと内部で少し議論をさしとしたところだったんですが、
00:54:18	今神谷さんがおっしゃっているところを多分
00:54:21	非常に
00:54:24	あと答えにくい質問だったというふうに認識しております、上流から出てきた時に C クラス同士の衝突をどう見るかといったところについて、
00:54:34	今の記載だと、多分整理できてないんじゃないかなというふうに思っております。ただ我々としてはですね 1.2Ss で見るっていうのが、
00:54:44	あるべき姿なんじゃないかなというふうに思っておりますので、そこも含めてですね、その整理の中にですね 1 させていただきたいというふうに考えております。以上です。
00:54:56	藤規制庁菅です。とりあえず 1.2Ss でやっつくからいいですよっていうのは、結論としてはあります。
00:55:04	どう、設計方針をきちんと整理をして、設計に展開するって意味ではちょっとできてないので、今言われたように元 C クラスのものです。
00:55:15	いうことに対して波及影響があります。
00:55:17	単純に、
00:55:20	車排気塔と物環境のところは、波及影響の観点の相対でぶつからないようにしましょうねなんですけど、

00:55:27	C 同士だとぶつかることによって壊れるっていう、伝統は、破壊による落下だったり、そういうところに紐づいた設計として壊れないようにしますっていうこと。
00:55:39	思うんですけど。
00:55:41	耐震でもそこまで深掘りした感じでは書いていないので、どちらの条文でどこまでのこと。
00:55:50	して、
00:55:52	ちゃんと耐震の人と、竜巻の人とで話をするようにして欲しいですって、石黒さんはそのファシリテーターっていうかですね、
00:56:02	深掘り派とは切り分けてっていうのをリードするような役割をしてもらいたいなど。
00:56:14	はい日本原燃石黒です。
00:56:16	はいかしこまりました。
00:56:20	ちょっと耐震と竜巻の、はい。橋渡し役をやりたいと思います。以上です。
00:56:27	規制庁古作です。その橋渡し C のイメージがいまいちはっきりしてないような気がするんですけど。
00:56:34	これはその条文間の関係っていうことになってですね。
00:56:38	ええ。
00:56:40	この話の入口開口部があるというのが前提のようにして話してんですけど、
00:56:47	それ前提じゃないんですね。
00:56:49	どこからか開口部が必要だと。
00:56:52	いう要求があり、その要求を達成するための開口を設け、その開口に対し、
00:57:01	外部衝撃の関係からの要求事項も満足するように、迷路構造にするなどで、それが実現できる設計としていく。
00:57:12	ということなので、員、
00:57:16	外部衝撃からすると、他条文からのインプットになるものが何なのかと。
00:57:22	いうのを、まず現状話題にしてるのは耐震ということなので、耐震がどうしていきたいのか。
00:57:29	それはなぜか。

00:57:31	ていうところをしっかりと読み管、かみ砕いて、
00:57:35	把握をして、
00:57:36	その中で本来はこう d もいいんだけど、まとめてやるのでこう、
00:57:43	いう形に一本化しますっていうんだったら、
00:57:47	それ、そういうことを考えを理解をした上で、外部衝撃側の対応をとっていく。
00:57:54	いうことですが、そういう整理がないままやっていると。
00:58:00	意味のないところで変な縛りをかけ、無理な設計をしていくと。
00:58:05	いうことになるのワー非安全側の活動になって、
00:58:11	ちゃんと入口を認識して対応しましょうねということだと。
00:58:22	はい日本原燃石黒です。前に耐震の例が上がったんですけども、耐震に限らずですね、他の条文、
00:58:32	も含めた生理学しっかりしておかないと、結局比屋根側になる可能性があるというふうに思い、ということで私もいうふうに理解しますので、
00:58:43	その辺ちょっとよく認識した上で、必要な、
00:58:47	検討、整理をしていきたいと思います。以上です。
00:58:53	すいません日本原燃志賀でございます。はい。今の点と、我々他の視点にうちのメンバーも加わって議論をしていかないといけないと思ってまして特に
00:59:06	今回の法版ですかねとかについても、耐震の要求、竜巻の要求竜巻の中でも、竜巻に対する荷重に対してどう持たせるかだけではなくて、
00:59:19	波及のことも考慮するというのが設計方針上うたわれてますプラス、清設備になると 36 条の要求の中にある 2.2Ss の応募対象設備に対して、どういったことを言って新居先生守んなきゃいけないのかと。
00:59:34	いう方針とのコラボ補ってる子に対してどういう設備に何を求めるかということのをちゃんと整理をして、それを全部包含できる設計とするということだと思います。その要求が何なのかっていうのが、
00:59:49	特に 36 条が一番、
00:59:51	バクッとしてる状態に今なっているのでそこをちゃんと明確にして、先ほど言われたように、余分な要求を課して、
01:00:01	やらなくてもいいような設計にしないことっていう条件は、確かにあると思います。とはいえ、判断基準が明確に定められないからここはもう

	A という、やってしまうっていう結論もあるかもしれないそこはちゃんとその、
01:00:14	前提を理解した上でそういう結論に持っていくということをしっかりと整理をしていくというふうに認識をしております。はい。
01:00:23	はい、古作ですよろしく申し上げます。今のその 36 条という関係でいうとアスターのヒアリングで話をすることとの関係も出てくるのかなと思うので、
01:00:36	その先の金曜日のヒアリングで、
01:00:40	本検討、全体等をどう進めていくのかも含めの検討になっていくような気はしますが、本県でもやれる範囲はあると思いますので、
01:00:51	順次整理をしていければと。
01:00:57	はい。与儀西原でございますはい。ありがとうございます。言っていただければ大変ありがたいですただとはいえ、我々が全体をちゃんと認識した上で、どこで何を話しているか、どれとどれがいい、相関関係があるかっていうのを、
01:01:10	しっかりと押さえておくというのが前提ですだと思っておりますので、そこはしっかりとやらさせていただきますはい。
01:01:19	規制庁中崎です今石黒さん言われた 36 条の話どっかですね先ほど
01:01:25	ごめんなさい。石原さん言われた石黒さんが言われた 1.2Ss の話についてなんですけども、ちょっと確認したいんですけれども、
01:01:34	市は 1 泊 1.2Ss で評価しますっていうことなんですけど、今主排気塔に取りついている。
01:01:42	東と西のブロックの防護施設っていうのはあれ、杭基礎で、
01:01:49	有効力とで応力の解析結果から、設計的な評価をしてるんですけども、
01:01:55	そういう施設に対しても、1.2Ss に対する検討を対象にするという理解でいいんですか。
01:02:19	日本原燃の石黒です。今、河崎さんおっしゃっていただいた、その区域層の建物に対して、同じような耐震評価しているかどうかということなんですけど、
01:02:33	すみませんちょっと今ここにいるメンバー、答えをちょっと持ち合わせていないので、別途ちょっと回答させていただく形にさせていただきたいと思っております申し訳ございません。

01:02:43	はい、規制庁濱崎なんですが先ほど上出からあったように、今現状、この構造物はどういう形で設計をしている。津田和智
01:02:53	Cクラスの、東と西に関しては1.2Ssまでやってないと思ってますので、それが本会の検討で、1.2Ssまでを必要としてくるとなると、
01:03:06	いろんな耐震自体についても評価についても影響してくるんで、耐震のメンバーとですね、しっかりそこは触れすり合わせた上、
01:03:17	設計方針を考えるなりですね、検討してもらいたいと思います。よろしいでしょうか。
01:03:26	はい。日本原燃石黒でございます。はい。よく耐震チームと連携してやっていきたいと思います。失礼いたしました。
01:03:35	はい。規制庁濱崎です。もう1点ちょっと私の方から確認したいのは、今回の資料で離隔距離を確保する設計に変えるということで、
01:03:46	laの東側のところですね。
01:03:49	30mmのクリアランスを100mmにしますっていう資料が12ページに出てますけれども、
01:03:55	同様な箇所っていうのは何ヶ所ぐらいあると今とらえられてますでしょうか。
01:04:22	日本原燃の石黒ですけども、今ちょっと具体的な数字はぱっとちょっともう申し上げないと申し上げ持ち合わせていないんですけども、
01:04:33	10ヶ所ぐらいは、
01:04:35	あるんじゃないですか。
01:04:37	Fも。
01:04:38	含めて、はい。
01:04:40	はい。ちょっとすいません。
01:04:43	数またそれも含めて、ご連絡差し上げます。
01:04:48	はい。既設濱崎です。では後程といいますか、いずれ説明の方をお願いします。以上です。
01:05:01	はい。規制庁の田尻です。
01:05:03	うん。何かちょっと物を見ながら今後具体的にやってた方がいいところにはなってきたりしてるんで、自分次はスケジュール聞きたいんでスケジュール以外で確認したい方おられたら先お願いします。
01:05:15	規制庁古作です。念のためですけど、資料一位のじゃないや、今回の添付1の関係は、

01:05:25	最初、マトリックスで要求事項なりとかの関係整理して、
01:05:32	潰し込みをしましょうね認識合わせしましょうねということ等で対応してると思っています。
01:05:37	添付2 もうその中での縦軸ってということになるのかなと。
01:05:43	思うので、これがいいとは思ってないんですけど、議論まで次の段階で議論できるかなと思っってますけど。
01:05:52	原燃もその認識でいいですか。
01:05:58	添付2-3 ページです。
01:06:02	はい、石黒です。の添付2 に書いてある内容は、
01:06:07	その導入からの展開表の中でまた表れてきますよねっていう話だと思うんですけども、そこははい。その認識です。
01:06:17	はい、規制庁補足です。で、添付
01:06:20	等、
01:06:21	次の添付3 なんですけど、
01:06:24	迷路構造にしますということ。
01:06:28	で対応するものだと思っているんですが、
01:06:33	メール構造の取り方っていうのが何かイメージがよくわからなくてですね。
01:06:39	ええ。
01:06:41	と、基本はモック数外気取り入れのところで話をしたように、
01:06:47	入らないような形。
01:06:50	構造になっていると。
01:06:52	当たってはね返ったとしても、悪さ部をするような方向には行きませんよねっていう、というような迷路構造だと思っているんですけど。
01:07:03	何か紙一重にすり抜け相関みたいなのぎりぎりみたいな。
01:07:08	がついてるもんですから、
01:07:11	大丈夫かなとちょっと心配になってるんですけど。
01:07:15	どんだんな考えを持っているんでしょうか。
01:07:26	はい日本原燃の石黒です。
01:07:29	今
01:07:31	小崎さん、12 ページの下の段の、改造後のイメージ図を見ておっしゃっていただいているかと思うんですけども、
01:07:41	このラビリンスの迷路構造っていうところの考え方としましては、



01:07:47	中に入ろうとするものを、その中にすでにラビリンスとなっている構造の部分で、1回当てて外向きに向かって、押し返すような、
01:07:58	構造になってるということを考えておまして、例えばこの図でいきますと、左上から右下に入ってくるというときに、
01:08:09	左上のところですね、突起物のようなものが見えると思うんですけども、そこで進入経路を制限するという形にし、
01:08:17	そういうことですね、
01:08:19	中に入ってるのを防ぐと言ったような考え方。
01:08:23	を対応しているという認識です。
01:08:27	はい。古作です。基本は開口部の入口を扉塞ぐイメージで、外側2邪魔板を置くという、
01:08:37	古藤で考えられてるのかなあと理解をしましたが、
01:08:42	そういうことですかね。
01:08:47	日本原燃石黒です。その通りです。
01:08:50	はい、古作です。
01:08:52	そういった基本思想とかですね、いうところを整理してもらおうと、全般的に理解しやすくなるかな、類型としても説明できるかなと。
01:09:02	思いますので、
01:09:03	その点、
01:09:05	整理をしていってもらえればと思います。
01:09:08	で、一方これ横向きの、
01:09:13	ところでも、
01:09:15	その突起物から開口がある状態になっていてですね。
01:09:19	どうしても開墾設けなければいけないので、しょうがないってしょうがないんですけど、
01:09:25	そちらの方は当たっても上側に行つてということ
01:09:32	入る方向じゃないってことですかね。
01:09:39	日本原燃石黒です。
01:09:41	その認識でして、上から左上から帰ってきたとしても、
01:09:49	基本的には、上方向にはね返っていくという、そういう認識をしております。
01:09:55	はい、古作です。突き抜けないように、ちゃんと資格は、
01:10:00	資格なんだと、

01:10:03	と。
01:10:04	経路を塞いでいるということ等ではあるとは思ってますが、そういったところも含めて説明いただきたいということと、
01:10:12	特にこれでいうと、上になるのじゃあ飛来物乗っかるんですねと。
01:10:19	いうことになって、追加の荷重になったりスルーわけで、
01:10:24	そこら辺も落ちませんよねっていうことは説明されるっていうことではないですね。
01:10:44	日本原燃就労ですけれども、今おっしゃっていただいたのは、飛来物が最終的にどういうときに、
01:10:54	乗っかる
01:10:56	乗かって止まってもあるということを、の挙動。
01:11:00	あり得るという話をされているということすいませんあの質問を変えしまつて恐縮なんですけど、その趣旨のご質問ですかね。
01:11:06	であれば、もともとこれ、衝撃荷重に対して持たせるようにしてますので、それによる自由っていうのは、かかったとしても、
01:11:16	設計上問題があるものではないというふうな、理解をしております。
01:11:21	以上です。
01:11:23	藤規制庁古作です。衝撃荷重での、
01:11:27	判断基準は、
01:11:31	その後の成果 10 も受けられる強度を持っているっていうところで判断基準とれてましたっけ。
01:11:46	規制庁の田尻です。第 1 回の時はどっちかという側面について以下でボルトが 1 本か 2 本残る形になって下に落下しないであるとか、回転して、中に入ってる防護対策ぶつかりませんよという形だったのに対して、
01:12:00	今回要はついてる面がちょっと違う形になるのでどのような形になるのかどこまでを判断基準とするのかっていうところを含めて多分整理していただければいいのかなというふうに思うんですけど大丈夫そうですかね。
01:12:16	日本原燃石黒です。理解しました。側面から当たる場合と、上面に対して上から落ちてくる場合で、飛来物の挙動が異なるでしょうから、

01:12:28	トレイに対する想定について、荷重の影響ゲーム使った後に生き残ってるボード分だけそいつの生活元からの板、結構重たいので、そいつの荷重支えてますよねっていうだけの話なので
01:12:44	ちゃんと多分さっき言った中さんのフィードバックやってそうな雰囲気があったんですけど、大丈夫ですよってだけです。
01:12:51	規制庁古作です。
01:12:54	補足で言うとう結局はその判断基準の設定の考えていうことになると思うので、それも要求事項の一つですから、今回のところで明確にしてもらえれば、
01:13:08	です。
01:13:11	下の石黒です。はい了解しました。
01:13:18	はい。規制庁の田尻です。中身は他になさそうなので、ちょっとスケジュール感を原燃から確認したいんですけど。
01:13:33	はい。日本原燃石黒です。
01:13:37	ちょっともともと考えていたメニューと少し
01:13:43	最初の冒頭の議論で罰することが、内容が少し
01:13:50	変わってきているので、
01:13:55	すいません。
01:13:56	1分だけお時間いただいてよろしい。規制庁、水戸振り返りに向けて、名簿の5分10分、今日鳥井ませんとりますよとりますよね多分したら1分どころか、時間あるんですけど。
01:14:12	はいそれ、お願いします。
01:14:15	規制庁草場です。その意味だと、振り返りに移行する前に何か話したいことほかになければということですけど、原燃から何かありますか。
01:14:33	日本原燃石黒です。蛇足だと思うんですけど、資料3については特段今回、私もええとぜなかったんですけど、もう読んで理解いただけたらと思いますので、
01:14:43	ちょっとこの説明も割愛したいと思います。
01:14:49	規制庁古作です。添付3ですかね。
01:14:53	添付3です。
01:14:56	失礼しました。城間さん、検討したんですか。
01:14:59	はい、規制庁古作です。でテンプさんはおわかりいただいたと言われるとわかんない。

01:15:04	どうぞ。
01:15:05	基本が進入経路を塞ぐようにしますということを言われていて、
01:15:12	どういうふうに塞ぐのかとかってというのは検討中だから、今後説明されるということなので、今聞くことはあまりないかなっていう認識なんですけどそれでいいですか。
01:15:24	はい。結論としてはおっしゃる通りです。
01:15:27	何でもこれ以上ちょっと申しわけないで、
01:15:32	この通りに、結構です。
01:15:34	はい。規制庁国分です。
01:15:37	次回いつっていうときに、今の部分がどういう状況での対応になるのかってというようなことは、振り返りの中で少し整理いただいて、どういうふうに、
01:15:48	進めていくかを、
01:15:50	振り返りで説明いただければと思います。
01:15:52	お願いします。
01:15:56	0 石黒につき、はい。
01:15:59	了解しました。
01:16:00	院長山内です。狩野有山では規制庁側から何か人だったり島
01:16:09	当時、
01:16:10	休憩場所、
01:16:12	原燃側よろしいでしょうか。
01:16:16	はい。10分、
01:16:18	いただきたいと思います。
01:16:20	それで15時再開としていたのを消します。
00:00:00	録音開始しました。
00:00:02	原燃側から振り返るようお願いします。
00:00:06	はい。日本原燃石黒です。画面はもう、はい出てると思いますので理解を始めたいと思います。
00:00:14	前段部分について
00:00:17	AST以外のメンバーについても発言することがある場合はあらかじめ登録するという、いうこと。
00:00:24	本体の話ですけれども、

00:00:28	まずはちょっと共通中に入る前に、しっかりと事実関係整理しましょうといったコメントをいただいております、まずはですね、縦軸に基本設計方針横軸に、
00:00:40	登場人物をしっかり並べた上で、後方視を受けた受けてどころが、基本設計方針を受けてそのうちそういった構造にしているのかと。
00:00:50	そういったものをマトリックスにして、まず事実関係を整理してくださいと言ったようなコメントをいただいております。
00:00:58	これについては、ちょっと議論したんですけど、1週間程度いただきたいというふうに思っております、来週の木曜日に提出を
00:01:10	したいというふうに思っております。
00:01:14	この資料については、次からラビリンス構造の話がありましたけれども、その考え方についても含めるということと、真上から当たる場合に、そのあとの挙動として物が乗っかって大丈夫かといったご質問もあったので、
00:01:30	そこも含めてトイレたいというふうに思います。
00:01:34	また耐震の話が途中で出てきて、丸さんの方ですけども、
00:01:40	耐震の話からスタートした話ではあるんですけども例えばで要求されている、
00:01:50	要求事項についても、共通受理の江藤、真木雑賀書を整理することというかですね、どのような
00:02:01	要求になってるのかっていうのは、切り口考えて、
00:02:08	もう絶対説明できるようにという内容の趣旨だったと理解してるんですけども、その中で、Cクラス設備の波及影響の話、耐震側の話とその他のところの走った話があったと思うんですけども、
00:02:22	その辺ちょっと石黒の方で調整しながらやっていこうと思うんですが、この辺のちょっと整理についての時間というのは、少しちょっと今、パッと申し上げにくいかなというふうに思ってるんですけども。
00:02:35	1度、理事の資料を提示させていただいて、そこでの議論の中で明らかにしていきたいとは思っている次第です。
00:02:45	あと、④⑤はちょっと個別のコメントと理解しております、主排気塔の東と西のブロック区域となっているところについての強化している進藤が何かといったところの確認と、

00:02:57	ということと、ラビリンス構造、こちら対応しているところをしっかりとまず把握してまた報告するというのと理解しております。
00:03:08	振り替え機器としましては以上です。コメントお願いします。
00:03:14	規制庁紙ですけど、③番のところでは石黒さんも発話されてますけど、記載箇所の整理じゃなくて、まずは要求の内容をちゃんと確認をし、
00:03:26	それをお互いの担当で把握した上で、どちらかに書くかっていう。
00:03:33	まずは中身の
00:03:37	そういう意味でいくと、③と④、④も③の内数で、それぞれどういう要求がかかっていて、どういう状態に、どういうときに、
00:03:48	どういう状態でなきゃいけない、いけないのかという要求事項をちゃんと整理するっていうところなんです。
00:03:59	4下に就労です。整理ありがとうございます 003の内数ということで私も同じ理解です。ありがとうございます。
00:04:08	規制庁の谷井ですけどこれの②も①と込みで1週間目とで何か示されるってことで、
00:04:18	はい。日本原燃石黒です。はい。こちらも①とセットでお出ししたいと思います。
00:04:26	北谷です。何か次回はマトリックスとして資料1、今日の一部で示してたようなやつが整理がされたやつ等あとどういった構造を実際しようとしてるからすべて網羅的に示すことだと思う
00:04:36	としてどういう考え方で
00:04:38	負担に話前川リジャメておきますよとかそういう話ところを整理して示そうってことですね。
00:04:46	規制庁古作です。
00:04:49	上出の言ったところに包含されるのではありますけど念のため申し上げますと、
00:04:57	③④について、どこでどうすべきかっていうのは実はあんまり論点なくて、
00:05:06	資料2であれ、資料3の前段であれ条文ごとに変えていくわけで、
00:05:12	要求事項となるのは耐震の要求なら耐震のところに、各C、
00:05:18	それを受けて開口部についてどう設計するのかだったら、次、外部衝撃の方に隠しというだけであって、

00:05:27	そこに何で開口部を設けるのかっていうところに繋がり、リンクを持たせると。
00:05:34	いうことでしかないので、そのリンクが変え方をとりあえずこうしてみましたというだけであって、
00:05:41	サポート論点はない。
00:05:43	です。
00:05:45	で、
00:05:46	その上で資料3で両方並べて書いたときに、その設計で、
00:05:52	合理的かだったり、考えは両方成り立ってるかだったりっていうことを話をすればいい。
00:05:58	ところですので、その際に、それぞれの要求事項というのが認識をとれていることっていうのが大事なので、上出から整理をしとくよ。
00:06:08	話をしたと、ということです。
00:06:11	大丈夫ですかね。
00:06:15	はい日本原燃石黒です。両方の側からも見て、矛盾がないように、お互いがお互いの設計邪魔しないような関係にあるということをしかりと把握し把握して、
00:06:26	説明できるようにするというふうに理解しております。
00:06:31	はい、古作です。です。理解したと思ってますよ。書いてないんですけど。
00:06:36	①の資料を整理するにあたっては部隊がどうなっているかがわからないとねというので、石黒さんがもともとやろうとしていた。
00:06:46	今回、対応している設備医師、一色なんですかね、像示すと。
00:06:52	いったものはどうなってるんですか。
00:07:01	日本原燃石黒です。こちら
00:07:05	結論から冷やすと。今ちょっと書けてないので、地域しようと思うんですが、もともと一式を、ただ1週間2週間を出そうとしたわけじゃなくて、ちょっと
00:07:18	3回目に分けてを出し、
00:07:22	することをちょっと考えていたというのが実態です。ですので、ちょっとこの1週間で出すとかっていうことではなくてですね、
00:07:31	ちょっとその時期含めて、
00:07:34	また、進め方ヒアリングで、

00:07:38	お話ししていただく。
00:07:39	ことではいけませんでしょうかちょっと、またいろんな作業が入ってきてるので、調整が要ると思っております。
00:07:46	規制庁古作ですけど、何を言われてんだかちょっとよくわかんないんですけど、
00:07:52	何のために十分休憩とったんだっていう気はするんですが、
00:07:58	あれですか、元武藤。
00:08:02	ウワー。
00:08:04	共通上にお相撲出しますという感じで
00:08:08	前回の鷲見片平とかで言ってたはずですけど。
00:08:12	それって一色出すっていうことだと思ってたんですけど、それわあ、
00:08:17	部分的に順々に出していきますっていうことが許容されるんだと思って発言をされてたということだったんですね。
00:08:29	日本原燃石黒です。
00:08:31	はい。すいません、そういうふうな認識のもとで話をしておりました。
00:08:39	規制庁古作ですけど、それが許されるのは、設計方針とかが切り分けられていて、それ単品ですって話をしてもカットの関係に影響を与えないと。
00:08:51	いうことで話ができるものということであって、
00:08:56	それはこれまでの進め方ヒアでもうモック数のグローブボックスについては、
00:09:02	関連でこういうものがあるけど、
00:09:06	量が増えすぎるので、この範囲だけに限定してやれないか。なぜならこういうところは別出しでやっても、
00:09:14	先にやるものの議論には影響しないのでっていうことがあって、
00:09:18	切り分けの考え方ってというのは整理ができたと。
00:09:23	思ってまして。
00:09:24	その考え方に基づいて、後続もやっていくということの中で検討し、話をしていただくと。
00:09:32	いうことが大事なんですけど。
00:09:35	竜巻防護の関係からその切り分けができるってというのは甚だ疑問で、先ほど言ったように上流要求とかの整理をしなきゃいけないということですから、分けようがないと思ってるんですよ。



00:09:48	逆にこれまで分けてきちゃったから、今混乱しているわけだと思っていて、
00:09:54	どういつもりで作業し、
00:09:56	しているんですかっていうのがわからなくなっちゃいました。
00:10:10	はい日本原燃石黒です。はいおっしゃるように、
00:10:16	数名、
00:10:18	切り分けられない以上は、一括で出さなければならないという夏は出さないと、審査しょうがないということだというふうに今考え改めさせていただきましたんで、
00:10:31	ちょっと一体出すことを念頭に、期限を改めて設定させていただきたいと、いうふうに思っております。
00:10:43	申し訳ございません。あれ、規制庁丹治です。ちょっといろいろとよくわからなくなってきたんですけど、
00:10:48	共通 12 と言って、いや実は、別紙 3 社さん部分だけだったんですって話で、3 部分は全部あるっちゃう話でもなかったんですけど。
00:10:59	馬場
00:11:05	資料さ、日本原燃石黒ですけども、資料 3 の部分を、
00:11:12	幾つか分けて出そうとしていたんですけど、それを
00:11:16	共通 12 という形で一式で出す。
00:11:21	ことをちょっと
00:11:23	考えたいというふうに思っております。なので、すみませんそういう意味では、
00:11:27	ごめんなさい、古作です。
00:11:29	今共通 12 を意識で出すなんて話はずい言うともしてなくて、その前段としては、今の丸一井の資料の中で、
00:11:40	最低限事実関係のわかる書類にはしましょうねと。
00:11:45	ということの中つまみ食いだとわかりませんよということをお話をしていただけです。
00:11:51	図面の中でわあ、文言とかはこだわらないから、議論すべき項目ぐらいは書き起こしておいてくださいねと。
00:12:00	ということをお話をしていて、それができるのはいつですかっていうことが確認、この振り返りでの確認事項だったんですけど、
00:12:10	まだ見通しも立てていないってことですか。

00:12:18	そもそも図面なんてもうあってしかるべきなんですけど。
00:12:26	当然、
00:12:27	でも迷路構造にする云々のところの改造なんて、こんかい書いた図面でも、
00:12:33	プラスアルファちょっといじくって書いただけであって、
00:12:36	1日そこらでできるような話だと思うんですけど。
00:12:42	日本原燃石原でございます。ちょっと口頭整理をさせていただきます
00:12:47	改造後の姿としての図面ってのは正式図面としては当然ないですけども現状あるものに対して手書きで修正するなり何なりして姿がこうなりますと。
00:12:57	いうものをお示しすることは多分できると思うので、そこも含めて先ほどの①番ですかね、の中でセットで、ファクト面、くみ上げないと多分意味がないと思いますので、
00:13:09	先ほど言ったということ多分1週間とのリンクかなと思いますけど。
00:13:16	現場的にはどうなの、1週間で無理だ。
00:13:19	あるやつかき集めてできない。
00:13:24	だって、まずファクトDで逆に言うと、今回みたいに何の説明もない図だけつけてもいいよ。
00:13:30	ここはこうなりますとかっていう、この考え方で何か吹き出しで書くとか何とかって言うと注意しないといけないんだよね。
00:13:40	うん。それ、それも含めて、それも含めて、全セット、1週間でできるかできないか。
00:13:47	見通しが無いってのが一番困る、1.5なのか1なのか、自分たちの実力考えているかわかんない。
00:13:55	束持っているのはあなた達だ。
00:13:58	守ってるができるはいはいつだっていう。
00:14:01	規制庁古作ですけど、今の石原さんの話を聞いていると、
00:14:07	原燃らしいなと思うところで、設計っていうのはメーカーがやっていて僕らは設計してません。なので設計者が情報提示しないと僕ら資料もつくれませんと。
00:14:20	いう発想のう。

00:14:22	エンジンチームらしいですけど、設計は原燃がやることであってそれを、部分発注するんだという認識を持たない限りは設工認を進みません。
00:14:34	どういう発注をするんだという方針として、こういうようなものを作ろうと思いますっていう資料をつくれればいいだけであって、
00:14:43	すべては内製でできるはず。
00:14:46	というのが我々のスタンスです。
00:14:49	それで、その際に、今日のその添付2の図面だと寸法書いてますけど、我々は今寸法なんか求めてません。
00:14:59	なぜなら、耐震だってまだこれから評価をするんだし、寸法が決まるわけじゃないよねと思っているからです。
00:15:07	一方で、話さなきゃいけない。そのためにこういうふうにしなきゃいけないっていう先ほどの邪魔板の置き方とかですね、そういう考え方、コンセプトっていうのは、
00:15:17	入口としての設計思想なので、それはちゃんと説明してくださいねっていうことで先ほど申し上げたと。
00:15:23	ということです。
00:15:25	なので、そんなのはもう、
00:15:27	判断してんでしょって思ってるから、何時間かかるんですかっていうふうに疑問を持っているというところですよ。
00:15:34	その点で言うと、
00:15:36	別に私進めたいわけじゃないから、自分から言うのも何なんですけど進めたいと思うのであればですね、8月、8月の6日、
00:15:47	9月だと思うんですかね審査会合2、この部分は説明しないでいいのか。
00:15:52	MOXの方だけか。
00:15:56	MOXだけでいいんですけど。
00:16:01	荷揚一社でございます。当然ながら、我々としても、進め、
00:16:08	進んでない人が、
00:16:09	住んでるサーバって日本語化している話ですけど、並行的に進めていてある程度のアウプットを示したいというのはこの竜巻についてもしかりだと思ってます。
00:16:19	はい。

00:16:20	古作ですその点では、できいかんということかもしれませんが、少なくとももうその次の回では説明していかないと。
00:16:31	工事も必要になってくる人。
00:16:34	ということでしょうから
00:16:38	やっていくんだと思うとですよ。
00:16:41	じゃあどういうスケジュールでいくのということになるわけで、
00:16:45	そのときに、①ってのはまだ確定に至る入口の入口の入口ぐらいなわけですよ。
00:16:52	それに何時間かけてるのってということ全体タスクの、
00:16:56	進捗を考える意味でも、
00:17:00	よくわからない。
00:17:02	なあというところですから、
00:17:05	それも含めて早々に全体スケジュール、
00:17:10	Steering チームとして意識をして、
00:17:13	設定してまた、金曜日に、
00:17:16	いつどうするのかというのを整理をしていただきたいと。
00:17:19	思います。
00:17:21	ベーン、
00:17:23	ここまで言えば私のイメージはわかると思うので、
00:17:26	対応よろしくお願ひしたい。
00:17:32	はい。日本原燃石黒です。理解しました。
00:17:37	規制庁、佐治です。同じような話なんすけど、最初にイレギュラーはありませんって言うてるから考えてるのかなと僕は思いながらヒアリングを聞いていたので、
00:17:49	だって、全部のやつ件、イメージだけでも、こういうふうにしよと 思ってやればできるかなってというのがないと、レギュラーないって最初 言い切れなかなとって聞いてたところがあるので、
00:17:59	ちゃんと、現場の人も多分何か考えがあるような気はするんですけど、 ちゃんと示していただければと思います自分から以上です。
00:18:13	与儀の1週間に1回、
00:18:15	いたしました。
00:18:19	規制庁山口です。他は全体を通して規制庁側が確認ございますでしょうか。

00:18:27	原燃側も特によろしいでしょうか。
00:18:32	はい。減免が特にございません。ありがとうございました。